

## 「令和7年度ふるさとづくり大賞」最優秀賞(内閣総理大臣賞)受賞 社会福祉法人ながよ光彩会【GOOOOOOD STATION】



### 「ふるさとづくり大賞」とは

全国各地で、それぞれのところをよせる地域「ふるさと」をより良くしようと頑張る団体、個人を表彰することにより、ふるさとづくりへの情熱や想いを高め、豊かで活力ある地域社会の構築を図ることを目的として実施されています。



▲総務省ホームページ

2月10日、都市センターホテル(東京都)にて「令和7年度ふるさとづくり大賞」の表彰式が行われ、本町より、社会福祉法人ながよ光彩会の取り組みが最優秀賞(内閣総理大臣賞)を受賞しました。この取り組みは、一部時間帯に無人駅となっているJR長与駅において、長与町およびJR九州からの委託により、駅管理業務(集改札、乗降介助、案内、清掃)を民間で行う、全国初の事例となっています。また、駅構内のコミュニティホールの一角にカフェ・ショップ【GOOOOOOD STATION】を開設し、ながよ光彩会が運営する就労支援施設の利用者が勤務、利用者が製作した商品の販売などを行っています。

「地域づくりに福祉的な視点を取り入れ、駅を単なる交通の拠点としてではなく、福祉・交流・学びの拠点として再定義し直し、無人駅増加という全国的課題に対しても、公共・福祉・観光を横断した持続可能なまちづくりモデルとなった取り組みは、全国各地で応用可能な地域共生型の先導的事例である」と高く評価されました。

この取り組みは、**施設や法人**の枠を超え、**行政やJR九州、地域住民**との**協働**によって育まれてきました。

協働とは「異なる立場の人が、同じ目的に向かって、それぞれの特性を活かして行動すること」です。地域課題が多様化・複雑化している現代、公平・公正なサービスを原則とする行政だけでは対応することが難しくなっています。一方で、地域住民にとっても、個人や地域だけでは地域課題を解決できない状況となっており、さまざまな主体が協働して課題を解決することが重要になっています。

福祉をどう地域へひらいていくか、無人駅による利便性の低下、公共施設の有効活用、それぞれが抱える課題を持ち寄り、強みを出し合うことで課題解決へと繋がり、**地域の中で交流や学びが生まれた取り組みは、長与町が進める「協働のまちづくり」の先導的事例として、まちの安心や笑顔に繋がっています。**



社会福祉法人ながよ光彩会  
理事長 貞松 徹 さん

### <受賞者コメント>

私たちの取り組みは、特別な制度や発想からはじまったものではなく、高齢者介護の現場で重ねてきた日常のケアと、地域の声に耳を傾けることから生まれてきました。無人駅での困りごとや働く場へのニーズに対し、行政や交通事業者、地域の皆さんと対話を重ねながら、福祉の視点で応えてきた結果、駅は「福祉」「交流」「学び」が交わる拠点へと広がっていったのだと感じています。今回の評価を励みに、これからも福祉をひらき、地域とともに誰もが安心して暮らし続けるまちの土台を育ててまいります。

## 食育活動の内容をご紹介します！

「食」は私たちが生きていくうえで欠かすことのできない大切なものです。健やかな毎日を送るためには、食に関する正しい知識を学び、バランスのよい食事を心がけることが重要です。小学生を対象に実施した食育活動の一部をご紹介します。

和食の学習として、だしの飲み比べを行い、「いつものごはんの味のひみつ」を知ることができました。また自分で料理をすることで苦手だと思っていた食材にも挑戦し、食べられるようになった子どもたちもいました。

調理の楽しさを知るとともに、毎日ご飯の準備をしてくれる保護者の方への感謝の気持ちも感想の中で出ておりました。

### <和食についてのおはなし>



### <いろんなだしを実際に飲み比べ>



### <食事内容>



メニュー(作り方は長与町ホームページ内「食育 レシピ紹介」に掲載)

- ・ごはん
- ・鮭のバターしょう油焼き
- ・きゅうりの酢の物
- ・キャベツとベーコンのみそ汁
- ・かぼちゃのみたらし団子

参加者の感想(一部抜粋)

- ・かぼちゃみたらし団子と聞いて、最初は、かぼちゃが苦手で不安だったけど、みたらしと一緒に食べるとおいしかったです。
- ・他の学年の子たちと協力して行いうい機会ができてよかったです。
- ・自分で作ったらおいしかった。みんなとも食べれてうれしかった。

### <長与町食生活改善推進員(ながよサラダ会)のご紹介>

「私たちの健康は、私たちの手で」をスローガンに、子どもから高齢者まで食を通じた健康づくりのボランティア活動をしています。長与町では「サラダ会」「食改さん」の愛称で親しまれています。活動に興味がある方、仲間づくり・健康づくりをしてみたい方、健康保険課(☎095-801-5820)までお問い合わせください。

## 活動の様子



学習会



親子料理教室



ベジチェック測定

## 長与町第11次総合計画(案)に係る答申とパブリックコメントの結果



2月10日、これまで長与町第11次総合計画(案)についてご審議いただいた長与町総合開発審議会および長与町まち・ひと・しごと創生推進会議(いずれも佐野浩子会長)から町長へ「長与町第11次総合計画(案)」に関する答申が行われました。

現在、長与町では令和3年度～7年度までを計画期間とする「長与町第10次総合計画」に基づいて各種施策を展開しています。

令和7年度をもって、その計画期間が終了することから、新たに今後5年間(令和8年度～12年度)を計画期間とする「長与町第11次総合計画」を策定することとし、

「まちづくり町民意識調査」や「町民ワークショップ」などを通じ、まちづくりに対する町民の皆さんの評価やニーズの把握に努め、現下の社会・経済動向を勘案しながら計画案の策定を進めてきました。

この間、同会議では本町の現状や課題等について活発に議論がなされ、計画案に対する町長の諮問を受け、今回の答申に至ったものです。

この日、同会議の佐野浩子会長から吉田町長へ「内容が妥当であるものと認める」とした答申書が手渡されました。今後、当該計画を「幸福度日本一のまち」を実現するための指針として、各種の施策に取り組んでいきます。

また、令和7年12月3日～令和8年1月7日までの期間において、本計画案に対するパブリックコメントを実施しました。お寄せいただいたご意見などについては、長与町ホームページに掲載しています。貴重なご意見をお寄せいただき、誠にありがとうございました。

長与町ホームページ▶



## 高田まつり



高田中学校吹奏楽部による演奏

1月25日、高田地区公民館にて「高田まつり」を開催しました。

公民館で日頃活動している講座や自主グループ、また地域の子もたちなど、16団体のステージ発表がありました。内容は、民謡、合唱、太極拳、フラダンス、吹奏楽部の演奏、郷土芸能、遊戯、わらべ歌と盛りだくさんで、観に来られた地域の方とともに楽しい時間を過ごしました。

展示発表は、通年掲示の写真をはじめ、10月初旬から6つのグループ(型友禅・水彩画・ペン習字・生花・こけ玉・俳句)が交代して公民館玄関ホールで展示を行い、来館された地域の方の目を楽しませていました。

## 初めての若者懇談会



1月14日に「初めての若者懇談会」を開催しました。この会は、昨年3月に策定された地域計画(長与町の農業の将来像を考えるために町内12地区で策定された計画)のブラッシュアップの一環として開催され、将来の長与町の農業を担う後継者や新規就農者、町内就農者の4割を占める女性農業者など約30名が参加しました。参加者は、農業経営の継承・家族間での話し合いの大切さに関する講話を聴いた後、グループワークを通してそれぞれが思い描く農業の夢や、抱えている悩みなどについて意見交換を行いました。

## 親子防災講座



1月24日に開催しました。町社会教育推進指導員会の主催により長崎県立大学シーボルト校片穂野邦子先生を講師に、16名にご参加いただきました。

避難袋や災害用トイレなどの体験、災害への備えチェックリスト、親子で参加自治会長ゲームなどを行いました。

参加者からは「非常用袋の中身が参考になりました。トイレはとても興味深かったです。」「自治会長ゲームが面白かった。知らない人と話すのも、最初は緊張したけど楽しかった。」「ゲームを通して子供も普段から近所の方とコミュニケーションし、どのような人かを知っておくことの大切さに気づけたようです。」などの感想をいただきました。

## 宝くじ助成金で整備されました



一般財団法人自治総合センターが実施するコミュニティ助成事業を活用して、長与ニュータウン中央区自治会集会所が建設されました。この事業は宝くじの社会貢献広報事業で、宝くじの受託事業収入を財源として実施されているものです。これによりコミュニティ活動の充実・強化が図られ、さらなるコミュニティ活動の発展も期待されます。

## 百歳の長寿を祝って

町より、お誕生日に訪問し、お祝いの言葉と記念品をお贈りしました。



**池田 雄一** 様(大正15年1月28日生まれ)

たくさんのご親族にお祝いされる中、百寿をお迎えになられました。ひ孫さんからご自身の干支のぬいぐるみをプレゼントされ、大切に抱えておられました。

### 普段の過ごし方

現在は、奥様とご一緒に住宅型高齢者施設で毎日を穏やかに過ごされています。好きな時間に読書や囲碁などの趣味を楽しまれているとのこと。

### 若いころのこと

54歳で退職されるまで国鉄の車掌としてご活躍されていたそうです。退職後90歳まで詩吟の先生をしておられ、無料で5つの教室を開き後輩の指導をされてこられたそうです。

**これからもお元気に、生き生きとお過ごしください!!**

## ながよグリーンツーリズム(みかん狩り体験)



11月5日、12月13日、18日に、長与・時津シルバー人材センターが三根郷にある農園で実施し、11月5日は23人、12月13日は17人、18日は30人の園児・児童等が参加しました。

子どもたちは、会員から収穫の説明を受けた後、補助を受けながら順番にハサミを使用して、収穫を楽しみました。

収穫後は、会員から手作りの「みかんのオブジェ」のプレゼントがあり、子どもたちは喜んでいました。